
人生を前向きに生きる20のヒント

地球の星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人生を前向きに生きる20のヒント

【Nコード】

N8734D

【作者名】

地球の星

【あらすじ】

これまでに自分が仕事や勉強、恋愛などを通じて学んできたことを、20の作品にして発表しました。読者の方々が人生を前向きに生きていくためのヒントになればと思っています。

1・食事 - まわりへの感謝を忘れずに -

日本では、私達の身の回りには、生きていくのには十分な量の食料があります。

1日3食たべていくことは当たり前のことでしょう。

では、常日頃から、その食べ物にありつけたことに、あなたは感謝をしていますか？

その食べ物は自分で働いて稼いだお金で買ったものだから、自分で手に入れたものだという感覚になっていませんか？

それではいけません。

ここでちょっと食べ物について考えてみましょう。

自給自足でない限り、あなたは他の誰かの生産した食料を買い取って、手に入れています。

その買い物のために使ったお金も、ただふってわいたわけではありません。

あなたの会社のためにお金を払ってくれる人がいたからこそ、手に入ったのです。

今やっている仕事が農業でなかったとしても、世の中に農業がなかったら人は生きていくことが出来ません。

もし、どんなにたくさんの札束があっても、無人島で一人だったら、それはただの紙切れです。

つまり、今あなたが当たり前のように今日を生きていられるのは、全ては農業があって、食料を生産してくれる人がいるからこそ成り立つものなのです。

自分で食べ物を手に入れていくことは、実はとても大変なことです。

僕は一人暮らしをしている時に植木鉢と土を買ってきて、自分で

貝割れ大根を栽培したことがあります。

また、春の七草を自分で集めて七草粥を自分で作ったことがあります。

しかし、集めても集めてもそれだけでは腹を満たすことは出来ませんでした。

本当に自分で食料を手に入れることは大変なんだということを身にしみて実感しました。

僕は食事をする前に、食料を提供してくれた人達に感謝の気持ちを表して、手を合わせて「いただきます。」と言っています。

食べ終わると、手を合わせて「ごちそうさま。」と言っています。当たり前前に思えることにも、感謝の心を忘れないようにしよう。

一見、一人で何かしているように見えても、それは誰かの支えがあつてこそ成り立つものなのです。

2. バッティングセンター - 発想を逆転させてみよう -

僕は体を鍛えたり、気分転換をしたりするための目的でよくバッティングセンターに行きます。

特に速球が好きで、130km/hくらいのレーンに行きます。

僕は左打ちのため、使用出来るレーンが限られているのが少し悩みの種です。

そのため、右打ち用のレーンが空いているにもかかわらず、待たされることもしばしばですが、それでも順番が来ると張り切って打ちに行きます。

ただ不振に陥ったこともあります。

その時、どうすれば打てるのかを模索していました。

最初の何球かはバント練習をしたり、バットを短く持ったりして色々試しましたが、なかなか当たりが戻りませんでした。

これまではジャストミートする確率を少しでも上げたいという思いから、太いバットを使っていました。そんなある日、細くて短いバットに目がとまりました。

多分、ソフトボール用のバットだと思います。

試しに使ってみようと思いましたが、これで振ったらなおさら当たりになくなくなっていました。

さらにはお金がもったいないという意識もあり、使うのをためらっていました。

しかし太いバットなかなかジャストミート出来なかったため、ついにそのバットに白羽の矢を立てました。

するとどうでしょう。それまでの不振が嘘のように痛烈な当たりを連発しました。

打率で考えれば、4割を超えたと思います。

本当に超気持ちいい（古っ！）でした。

多分、軽いバットなのでスイングスピードが上がり振りがコンパクトになったからではないかと思っています。

最初は細いバットでは当たるわけがないと思っていましたが、発想を逆転させてみた結果、見事なまでにその予想は外れ、後にはすごく嬉しい誤算が残りました。

今でも僕はほとんどの場合、その細いバットを使い続けています。

一見それではだめだろと思うようなことがあっても、やってみる価値はあると思います。

やる前の段階では、誰にも結果はだめだとは言いきれません。

やってみてもし本当にだめだったらそれはそれで開き直れますし、もし物事が好転すればこれほど嬉しい誤算はないでしょう。

つまりプラスマイナスゼロかプラスの結果が得られるということになるのです。

発想を逆転させて物事をやってみると結構色んな発見がありますよ。

3・空き缶拾い　- 自分を信じ抜こう -

道を歩いていると、所々に空き缶が落ちていることがあります。僕はそれを見ると、拾ってくずかごに入れたりしています。

ささいなことかもしれませんが、この行為が資源のリサイクルや、二酸化炭素の削減に貢献することになります。

まだ関心が薄いことかもしれませんが、二酸化炭素排出による、地球温暖化問題は私達が考えている以上に深刻な問題です。

産業革命前は280ppm(0.028%)だった二酸化炭素の濃度は現在370ppmです。

そして、これからこの濃度は今まで以上に急激な勢いで伸びていきます。

世界の会議では、二酸化炭素をどうやって550ppmに抑えるかということが話し合われています。

正直言つて、370ppmの今の状態でも、世界各地で様々な異常気象が発生しています。

これが550ppmになったら、あるいはもしそれ以上の濃度になったら、いったいどんなことが起きるのか、僕自身想像も出来ません。

だからと言って、何もせずにいるのはいやです。

小さなことであっても、出来ることをやっていきたいと思っています。

だからこそ、僕は空き缶拾いをしています。

空き缶拾いは私達が考えている以上に有効な手段です。

アルミ缶の例で考えてみましょう。

アルミ缶に使われるアルミニウムはボーキサイト(酸化アルミニウムを含んだ鉱石)から作られます。

意外に知られていないことかもしれませんが、ボーキサイトから1トンのアルミニウムを作るのに使う電力は21100kWhにも及びます。

これは一般的な家庭1ヶ月の電気使用量(240kWh)の88倍に当たります。

しかし、リサイクル品からアルミニウム1トンを作れば、そのわずか3%の電力で済むのです。

これだと専門的で分かりにくいかもしれませんが、別の考え方で説明します。

あなたは自動販売機でジュースを買って飲みました。

そして、そのアルミ缶を道端に捨ててしまいました。

そのアルミ缶の重量が20gとすると、あなたは100Wの電球を4時間13分つけっぱなしにしたことになっています。

しかし、そのアルミ缶をリサイクルにまわせば、97%の電気をセーブ、つまり100Wの電球約4時間分の電気をセーブしたことになるのです。

二酸化炭素に置き換えると、20gのアルミ缶をリサイクルするか道端に捨ててしまうかで、排出量に150g近くの差が出ることになります。

結構大きな差だと思います。

だからこそ、僕は空き缶拾いをしています。

そして、これからも続けていくつもりです。

こういったことはごみ拾いの作業でなければ、なかなか出来ないことかもしれません。

正直、他人の目が気になることもあります。

中学の時、学校でごみ拾い活動をした翌日に、自主的に道端でごみ拾いをしていたら、他の生徒にからかわれたこともありました。

その時にはさすがにやめてしまいました。

また、自分で箸を持参して使っていた時には、一緒に食事をしていた人がまわりを気にしていたために、その人の前では使用を控えたこともあります。

時には周りの状況によって妥協したりすることもありますが、それでも僕は基本的には自分を信じ抜くつもりでいます。

まわりに誰もやる人がいなければ、自分の信念を貫き、自分が第一人者になってみましょう。

なお、作中に出てきた数値は、僕が色々な資料から集めた情報を元に、自分なりに計算して出したものです。

実際に測定したわけではありませんので、ご了承ください。

また、作品中ではアルミ缶に限定して説明しましたが、僕はスチール缶など、他のものをないがしろにしているわけではありませんので、その点を誤解しないよう、お願いします。

4・就職、転職　・やりたいことは、すでにやっていること・

「やりたいことがあるけれど、それを仕事に出来ない。」という意見を聞くことがあります。

僕もそうだった気持ちは持っています。

やりたいと思っている分野の仕事は今でもあきらめていませんし、これからあきらめることはないでしょう。

でも、たとえすぐに理想の仕事にありつけなかったとしても、今の現実をしつかり受け止めながら人生を歩んでいく覚悟は出来ます。

では、もし本当にやりたいと思っていることが仕事になったら、それは本人にとって幸せなことなのでしょうか？

それと引き換えに失うものも決して少なくないと思います。

例えば野球が好きで、将来はプロ野球選手になりたいと思っている人がいたとします。

その人は、自分の目指していた球団から指名を受け、晴れてプロ野球の選手になることが出来ました。

彼の人生は果たしてバラ色でしょうか？

恐らく、これから家族や恋人と一緒に過ごす時間がかなり少なくなるでしょう。

野球で生きていく以上、野球を取ったら何も残らない日々を過ごすこともあるでしょう。

ビジターの試合に行くことになれば、確実に家を空けなければならなくなるでしょう。

ハードな練習に耐え切れなくなり、プロ入りしたことを後悔したくなるようなことも、1度や2度ではないでしょう。

試合に勝った時以外はほとんどの時間を辛い思いをしながら過ごす。

すことになつても不思議ではないでしょう。

試合に出たとしても、活躍出来なければ、マスコミや様々な人から叩かれることになるでしょう。

結婚して家族を築いた場合、奥さんや子供に寂しい思いをさせてしまうことになるでしょう。

彼らはプロ野球選手の夫人とか、子供という理由でまわりからジロジロ見られることもあるでしょう。

つまり、自分のやりたいことを仕事にするということは、それだけいばらの道に足を踏み入れることになるのです。

もし今の現実を前向きに考えられるのなら、今やっている仕事は自分の目指していることと違つても、目が輝いているはずです。

いつまでも今の仕事を続けられるわけではない。いつかはこの仕事を離れていかなければならないことを心得ていれば、今という時間を大事に生きることが出来ます。

それに、本当にやりたいことなら、たとえそれが仕事にならなくても、時間を見つけてすでにやっているはずです。

野球が本当に好きな人なら、プロに行けなかったとしても、仕事が終わった後に集まつて練習をしています。

貴重な休み時間となるはずの土日が野球に費やすことになつても、金曜の夜に夜遅くまで残業しても、元気にプレーしています。

「やりたいことがあるけれど、それを仕事に出来ない。」という人は、そのやりたいことをすでに実践していますか？

厳しい言い方をしますが、もしやっていないのであれば、まだ本当にやりたいこととは言えません。

やりたいことは、仕事でなくても前もってやっておきましょう。就職や転職の際、面接官はあなたのそういうところを見ているのです。

5・恋愛、結婚 - 第3者にも心を開いてあげよう -

昔お世話になった人と久しぶりに会って親しく話をしたりすると、男女を問わず、その人がすでに結婚していたということを度々体験するようになってきました。

そういう場合、僕は「結婚おめでとう」とささやかな祝福の言葉を送ったりしています。

また、この機会を利用してメールアドレスを聞いて、その後の近況を伝え合おうとしたりすることもあります。

実際に今でも近況をやりとりしている人がいます。

しかし、中にはどこかよそよそしい雰囲気を漂わせながら断ってくる人もいます。

断ること自体は悪いことではないので、別にかまわないのですが、言い方によってこちらには気まずさが残ってしまいます。

結婚する前だったら、もっと気楽にやりとり出来たと思うのですが、結婚によってどこか変わってしまったような感じでした。

恐らく浮気や不倫を恐れているのかもしれませんが。面倒なトラブルに巻き込まれ、最悪の場合、自分の運命の人を取られてしまうかもしれないと考えているのかもしれませんが。

その気持ちは誰もが心のどこかに持っていることでしょう。

こちらとしても、そういうことはしてはいけないという自覚も持たなければなりません。

しかし、もし断る場合は、せめてさわやかな感じで断っていただければ、こちらとしても気分いいのと思うことがあります。

似たようなケースは恋愛に関しても当てはまっているのではないかと思います。

昔、知り合った女性と親しくなり、色々話をしました。

ところがある日、留守番電話にその人の彼氏から脅迫まがいの内

容のメッセージを入れられ、さらには自分の家族にまで迷惑がかかったことがあります。

僕はそれ以降、その女性と会って話をするのもおっかなくなってしまうました。

会っても、あいさつすらしないまま黙ってすれ違うようになりました。

やがて、顔を合わせる機会もなくなりました。

今となつては確かめる術はないですが、彼氏がこんな人ではその女性も苦勞していたかもしれません。

恋愛や結婚は時として足かせとなることもあります。

第3者と話をする、浮気や不倫につながるのではないかという意識が働いてしまい、特に異性の友人や同僚と話がしづらくなったりすることもあります。

そのような雰囲気があると、恋愛などで悩んでも、第3者と相談しにくい雰囲気が出来たりします。

でも、それでは2人ぼっちになってしまいます。

結局、得たものを失うことにおびえていてもいけないと思います。もし第3者が新たなライバルになったら、自分を磨くチャンスと考えてみましょう。

自分がその人よりもより魅力的になって、今付き合っている人にアピールし、自分が浮気相手になるようにしてみましよう。

人生は長いのです。恋愛や結婚によって考えが保守的になつては、きつとみんなが疲れてしまいます。

第3者にも積極的に心を開いてあげましよう。

6・勉強 - 社会人になっても勉強していこう -

現在、僕は好きな時に好きな勉強をしています。

やっている科目は英語、韓国語、物理、化学、食品の栄養素、ビジネスノウハウ、人間の心理などです。

本屋で気に入った本があると積極的に買い、時間があれば読んでいます。

勉強している理由はいくつかあります。

仕事で役立てたいからやっている。

楽しみでやっている。

外国に行った時に相手の言葉で会話をしたいからやっている。

ここまでは自分個人に向けて言っていますが、それ以外に他の人、特に子供の見本になりたいからということがあります。

しかし世の中では学生を卒業してしまうと、勉強をやめてしまう人は多いのではないかと思います。

僕もそういう時期がありました。

勉強という束縛から開放されることが社会人の特権であるかのようについていたこともありました。

しかしその考え方では、学生達には見本にはなりません。

自分が勉強していないのに学生に勉強を勧めても、彼らは勉強しようとは考えてくれないでしょう。

僕自身も「勉強しなさい。」と言われるのは今でも嫌ですし、そんなこと言われても勉強する気にはなれません。

他人に勉強をしてほしいのであれば、自分自身も勉強をし、勉強って楽しいものなんだということを教える必要があると思います。

キャッチボールであればたくさんの人が子供と一緒に楽しむことが出来るでしょう。

その時にキャッチボールを強要するような言い方では誰もやりたがらないのと同じだと思います。

とは言え、社会人になってからの勉強はしんどい一面もあります。さぼっても誰も叱ってくれる人がいません。

資格を取るためであればテストがないので、モチベーションを保つのが大変です。

まさに自分との闘いです。

その代わり、社会人ならではの特権もあります。

学生時代には苦手な教科もやらなければなりませんが、社会人になってからは自分の好きな勉強を好きなだけ出来ます。

学校の勉強では、教科書にのっている問題をひたすら解いていくといった受け身のやり方が目立ちますが、社会人になってからは理科の自由研究のように、自分で疑問を見つけて、それに迫っていくといったやり方が主流になっていきます。

人によりけりかもしれませんが、僕はこの勉強のほうが好きです。

学生を卒業してからでも勉強になることはたくさんあります。

社会人になったら勉強は楽しいものだということを教える立場に立ってみましょう。

7・高校生物 - 小さなことでも、大事な役割を担っている -

私達の知っている通り、動物は呼吸によって酸素を吸い、二酸化炭素を吐き出しています。

僕は高校生物の参考書で、その呼吸の仕組みについて詳しく勉強したことがあります。

酸素は呼吸のありとあらゆる場面で役に立っているのだろうと思っただけなら、意外な事実が明らかになりました。

実際は、数え切れないたくさんの化学反応の一番最後、呼吸によって燃えカスのように残った水素と結合して水になるという、たった1箇所だけでした。

一見すると、その水素さえ何とか出来れば酸素なんて必要なさそうな感じでした。

それでもそのたった1箇所がなければ呼吸作用は完結出来ず、結果、動物は生きていくことが出来ないのです。

(酸素なしでも生きられる生物は少数ながらいまいますが…。)

世の中でも、スポットライトの当たらない地味な仕事や裏方を担当していたり、または大きな機械の中のほんの一部の部品をひたすら製造していたりする人は多いと思います。

自動車の場合、大手の会社が注目を浴びてしまい、ボルトやナット、ネジなどを製造している下請け業者に注目することは少ないと思います。

しかし、自動車はそのボルト1個が欠けただけでも大事故につながる恐れがあります。

大型機械でも、部品1個が正常動作しなくなっただけで、大事故につながる恐れがあります。

つまり、一見他人が軽視しがちなことであっても、ちゃんと大事

な役割を果たしているのです。

仕事でスポットライトの当たらない、窓際族のような感じで働いていたとしても、あなたがいなくなったら困るという存在になってみましよう。

8・選挙 - 人はガチンコ勝負によって成長する -

日本では20歳になると、誰でも選挙権が得られます。

選挙で投票にいった人なら、自分が投票した人が当選すると嬉しいでしょう。

僕は選挙になる度に投票に行っているので、そのような体験を何度もしています。

投票した理由は人によって色々あると思います。

その人を応援しているからという人もいるでしょう（僕の場合は大抵この理由です）。

演説を見て決めたという人もいるでしょう。

一方で、組織票のために、誰に投票するかが最初から決まっている場合もあるでしょう。

理由はとにかくとして、投票にはぜひ行きましょう。

しかし、僕は以前から組織票に「ついて疑問を持ち続けているのも事実です。

もちろん、自分の活動が認められたおかげで地道に支援者を集め、それによって当選した人も大勢います。

しかし、世の中には会社の組織票だけで当選出来てしまう人もいます。

驚くかもしれませんが、こういう現実もあるのです。

つまり、本人は不祥事か何か起こさない限りは、何もしなくても事実上最初から当選が保証されているようなものです。

こういった事実を知っている人と話をすると、「本当に選挙がこんなんでいいのかなあ。」と言う声も出てきます。

時にねたましい声を聞くこともあります。

当選した本人や、組織票で投票した人達は一体どんな気持ちなん

だろうと思えてきます。

僕は組織票を全て否定するわけではありません。

しかし、努力しなくても夢が叶ってしまう雰囲気には納得出来ません。

もし僕が組織票で当選出来る身だったら、他の人達に「夢に向かって一生懸命努力しなさい。神様は努力した人にだけ夢をかなえてくれるんだ。」と、言えなくなってしまういます。

時には「どうせ当選出来るのだから。」と思い込み、努力することがバカバカしくなることがあると思います。

これはあくまでも僕なりの「たら、れば」の話ですので、現実の人達は違うと思います（違うと信じたいです）。

彼らにも、私達には分からない、彼らなりの悩みなどもあると思います。

しかし、どこかで気持ちに隙が出来ると思います。

誤解を恐れずに言うと、政治がどこか墮落してしまう要因の一つにもなるのではないかと思います。

世の中、始めから結果が分かっていたり、努力しなくても夢が叶ってしまうようでは進歩はないと思います。

どんな予選であっても、楽に突破出来るものはありません。

いや、むしろあるべきではないと思います。

もしサッカーワールドカップ予選で、自分の国のチームがほとんど予選を突破したも同然の勝ち点をあらかじめ与えられた上で他の国と総当り戦をしたら、それは盛り上がりがないと思います。

やはり勝負というものはガチンコ勝負であるべきです。

もちろん、時には勝って喜んでいる人の横で、負けて悔しい思いをすることもあるでしょう。

懸命に努力してもそれが報われず、その勝負の世界から去っていく人もいるでしょう。

それでも、そういった厳しい競争があるからこそ、人は生き残る

ための努力を真剣にします。アイデアを絞ります。その人なりのプロジェクトXが出来上がります。

そうやって叶った夢は、何にも代えがたい財産になるでしょう。人はそうやって成長していく生き物です。

未来のことは、誰にも分かりません。

分からないからこそ、人は努力をしていくものなのです。

楽な勝負とガチンコ勝負があつたら、積極的にガチンコ勝負に挑んでいきましょう。

9・失業 - それは時を越えて、成長の糧となる -

仕事で、残業や休日出勤などにより、長時間働いている人は多いのではないかと思います。

心の中では今の仕事をやめたいと思っていたり、他人に文句の一つでも言ってやりたいと思っている人もいるでしょう。

でも家族のために稼がなくてはいけないとか、上司から「嫌ならもう来なくていい。」と言われるのが怖いという理由で、我慢して仕事を続けている人は少なくないと思います。

僕は時々カウンセラーやメンタルアドバイザーとなって、彼らの本心を聞いたりすることがありますが、そのような現実を聞くと心が痛みますし、何とかならないものかなと思ったりします。

実際には何とか出来る物ではありませんが、それでも話はしっかりと聞いてあげて、気持ちちはちゃんと受け止めています。

正直に言いますと、僕は過去に会社を解雇されて失業してしまっただけがあります。

失業後の僕が置かれた状況は次のような感じでした。

その時、僕は一人暮らしをしていたので、どうにかして収入を得なければいけませんでした。

解雇前にはこんな仕事はやめたいと思っていましたが、いざ解雇されてしまうと自由が恐怖となつて襲い掛かってきてしまい、とにかく何でもいいから仕事を紹介してくれという心境になりました。

仕事の内容なんかはこたわつてはいられませんでした。

それから間もなく、時給800円のアルバイトにありつくことが出来ました。

とは言え、期間1ヶ月未満の短期の仕事だったので、このままではまたすぐに失業してしまいます。

だから仕事をしている時には頑張って自己アピールをし、何とか仕事の依頼を増やそうと必死でした。

その結果、どうにかして1ヶ月に大体20日程度仕事を得ることが出来、平均で月収14万円程度を得ることが出来ました（最高20万、最低11万）。

しかし、その月は20日ほど働いたからといっても、翌月の仕事日数は保証されたわけではないので、またアピールしていかなければいけません。

一方で、生活は金銭的に厳しく、あの手この手で節約をしました。それまで自炊は週に3日ほどしていましたが、その回数を増やしました。

自炊しない時でも、仕事が終わって夜帰宅する途中、明日の朝食のためにスーパーで半額となったおかずやお惣菜を探し歩いたりもしました。

外食の時には、大学の食堂に何食わぬ顔で入っていったこともありました。

仕事場は日によって変わるため、アパートから離れたところに行く時には、電車賃をうかせるために自転車で片道30分から45分かけて通勤したこともありました。

今考えると、節約に関しては、そこまでするかというくらいやりました。

僕はこのような生活を6ヶ月続けました。

体験しなくてすむのならば、このような日々はもう過ごしたくないです。

でもこのような日々を体験することによって、結構精神的に成長出来たと考えています。

また、失業した後の姿を自ら体験することによって、失業によってもたらされる自由が恐怖ではなくなりました。

今の僕なら、もし解雇してきた会社の上司から「嫌ならもう来な

くていい。」と言われても、そんなにじたばたしないと思います。

今の仕事をやめたくてもやめられないのは、やめた後の姿を描けないことが恐怖になっているからだと思います。

いざ経験してしまえば、恐怖は半減します。金銭的に厳しい状況になれば、節約するための生活の知恵は色々浮かびます。

解雇した会社に感謝する気はありませんが、失業によって成長するチャンスにもなったと考えています。

どの道を選んでも、待っているのはいばらの道です。

しかし、あなたを成長させる糧にもなるはずです。

選んだ道を前向きに考えて生きましょう。

10・電車の中 - 早めに行動しよう -

海外旅行から帰国し、空港から電車に乗っていた時のことです。僕はスーツケースを網棚の上に乗せて、椅子に座っていました。やがて下車駅が近づいてきたため、立ち上がり、スーツケースを下ろそうとしました。

でもその時には電車が速い速度で走っていたため、まだ早いかなと思い、一旦座りました。

しばらくして電車が減速し始めたため、もうそろそろいいかなと思って再び立ち上がり、スーツケースに手をかけました。

その時電車がカーブで急に速度を落としたため、バランスを崩してしまい、慌てて下ろすのをやめました。

もしその時下ろそうとしていたら、手が滑ってたまたま座っていた人の上に落としてしまったかもしれません。

まさにヒヤリ・ハットでした。

その後、僕は電車が停車しようとしていた頃にまわりで座っていた人にひとこと言ってから再びスーツケースに手を伸ばし、落とさないように慎重に、でも素早く床に下ろしました。

その時にはすでにドアが開いていたため、少し慌てながら下車しました。

個人的にはあの時電車が減速する前にあらかじめ下ろしておくべきだったと思いました。

物事は早め早めの行動が大事です。

もう少ししたら行動しようという発想では、いざやろうとした時に思わぬことが起きたりしてチャンスを逃したり、慌ててやるはめになったりします。

僕の場合、朝食を摂っている時に、まだ家を出るまで時間がある

かから思つてついついゆつくりしていたら、急にトイレに行きたくなつてしまい、大慌てで家を出て駅に向かうはめになったことが何度もあります。

そういう時こそ電車に乗り遅れたらどうしようというプレッシャーが襲い掛かつてきます。

事故にあつ危険も一気に高まります。

行動するなら、早め早めにやっておきましょう。

11・職場 - 自分から行動しよう -

ある日、職場の仕事場で作業をしていると、入口のインターホンが鳴りました。

僕は作成した資料を上司に報告している時だったので、他の誰かにお任せすることにし、そのまま打ち合わせを続けました。

それから20秒ほど経過したでしょうか。またインターホンが鳴り出しました。

しかも今度は連続で鳴り続けました。

僕はまだ報告の途中でしたが、今度は素早く中断し、入口の方へと向かっていきました。

他にも応対に行こうとしていた人はいましたが、最初にたどり着いたのは僕でした。

そして、ドアを開けるとお辞儀をしながら「お待ちさせてすみませんでした。」とひとこと言って詫び、お客様を招き入れました。

お客様は特に気にしていなかったようで、ほっとしました。

しかし、心の中では誰か出るだろうと勝手に予想してしまい、応対に出ようとしなかったことで相手を待たせてしまったことを後悔しました。

人間、日常生活の中で誰かに任せなくなる時はきつとあると思います。

僕もそういう時はありましたし、これからもそういう時はあるでしょう。

しかし、この件を通じて、自分から積極的に行動しようという教訓を学びました。

世の中、このようなケースは結構あるのではないのでしょうか？

時には犯罪や事件が起きた時に、結果的に誰も通報しなかったということもあると思います。

これは誰かやるだろうという思い込みが引き起こしたケースです。こんなことがまかり通る世の中になっては嫌でしょう。

時には損な役を演じることもありますが、やっぱり自分から積極的に行動しましょう。

12・恋愛 ・行動したことを前向きに評価しよう・

恋愛をしたいけれど、出会いがないというケースは世の中結構あると思います。

そういうことを聞くと、僕はその「出会いがない」という言葉は、どういふことの結果生じたものかなと疑問に思うことがあります。

色々行動してみたけれど、それでも出会いに恵まれなかったというケースもあると思います。

その一方で、毎日家と会社または学校を往復しているだけで、行動しているとは言い難いケースもあると思います。

運命の人が登場するのをただ待っているだけの状態では、出会いがないのも無理はないでしょう。

僕は、自分で書いた詩「From Now On」(このサイトに投稿した作品「旅　　長過ぎる人生の道の中で」の5番目に収録されています。)

自分としては自作の小説のヒロイン、コロナが作った作品という位置づけですが、それ以外にも思惑があります。

この作品は当初、彼と離れ離れになってしまった主人公の少女が失意の中で過ごしていると、そこに彼が再び現れて、そしてもう一度やり直そうとする内容でした。

しかし、後にただ待っているだけではいけない。自分から行動しなければと思うようになり、自分から彼を追いかけていく内容に変更しました。

(そうしたら、相手の彼の方が行動しない人なのかという疑問が生じてしまったため、彼は夢を追い求めた結果、辛い決断をして主人公の前から去っていったという設定にしました。)

行動することは大事なことです。

しかし、その結果はいいことばかりではありません。

相手にすでに付き合っている人がいてふられたということもあるでしょう。

しばらく恋愛からは離れていたいからという理由で断られることもあるでしょう。

言葉巧みにかわされてしまうこともあるでしょう。

相手から、この人は明らかに恋人ゲットに来ていると思われる警戒され、失敗してしまうこともあるでしょう。

それでもいいのです。

付き合っではみたけれど、失敗ばかりということもあるでしょう。相手を傷つけるばかりになってしまいうこともあるでしょう。

それでもいいのです。

大切なのはコツが身についてから行動するのではなく、行動してコツを身につけるといふ発想を持ち続ける事です。

サッカー選手が海外に移籍する場合で考えてみると、彼らは先に言葉が身についてからと言っては、いつまでたっても移籍は出来ません。

大抵は現地の人々と会話が出来ない状態で移籍することになります。

そうなると当然言葉の壁が立ちはだかってきます。会話するのも苦労します。

移籍したことを後悔したり、思い悩んだりすることも1度や2度ではないでしょう。

でもプレーで相手にアピールすることは出来ます。

実力をアピール出来れば、相手も認めてくれるでしょう。

言葉の壁を越えた何かを身につけることも出来るでしょう。

言葉はそれからでもいいのです。

世の中、行動することが大事です。

どうせ悩むのなら行動して悩みましょう。

行動したことを誰からも評価されなくても、自分という最高の評価人がいます。

13・競走馬育成ゲーム - 気性難は強烈な個性にもなる -

人の性格は様々です。

おとなしい人、気性の荒い人、他人の意見を素直に信じる人、自分の意見を貫き通す人など、たくさん個性があります。

でも人と付き合ったり、人を指導したりする時には、その個性がなかなかせものになることがあります。

その人がその人の考えを貫き通すがゆえに、なかなか自分の言うことを聞いてくれなかったりすることもあると思います。

その人が気性難ゆえに手を焼いたり、ささいなことでもけんかになったりすることもあると思います。

世の中には個性が色々ある以上、一筋縄にいかない人とも付き合っていかなければなりません。

しかし、気性難など一見ネガティブに思える一面も、時として強烈な印象を残してくれることもあります。

僕の場合では、テレビゲームで競走馬育成シミュレーションゲームをしていた時に、気性難ゆえに、それが強烈な個性になった牝馬がいました。

その馬は能力的には2000mくらいが適距離で、瞬発力に優れ、重賞を勝てる逸材でした。

しかし気性難が災いしてなかなか勝てず、一時期は16戦2勝、500万下条件クラス（下から2番目のクラス）という屈辱的な成績になってしまいました。

本当に、こんなはずじゃないのと思いました。

もし現実の競馬だったら、一番人気を何度も裏切られたファンから罵声を浴びせられていたでしょう。

僕としてもその馬に対して、時にぶち切れたかもしれません。

何とかしたいと思う中である時、1200mの短距離戦で思い切
って追い込み賭けてみることにしました。

短距離戦は先行した馬が逃げ粘ることが多いので、一見無謀な賭
けでしたがそれが見事に的中しました。

そして、そのレースを含めて1200m戦を3連勝し、続く18
00m戦でもやはり追い込みを決めて4連勝。見事にオープン入
りました。

この時点で20戦6勝です。

その後はオープンクラスの壁にぶつかりながらも、1200mの
GIIシルクロードステークスをやはり追い込みで勝って重賞ウ
イナーになり、27戦7勝で引退しました。

短距離戦を何度も追い込みで勝った馬は後にも先にもほとんど例
がなく、僕としては強烈な個性として残りました。

引退させる時には寂しさが込み上げてきました。

気性難の人と付き合うと、確かに大変なこともあります。

でもそれを素直に認め、気性難ならではの付き合い方を見つけると、
色んな収穫が得られたりします。感動もあります。それまで思いつ
かなかった新しい発想が思いつくこともあります。

世の中、自分に素直に従ってくれるイエスマンばかりではそのう
ち進歩が止まってしまう。どこか寂しい感じがします。

各自の個性を見極めながら、上手に人付き合いしていきましょう。

14・勉強 - やり方は何でもOK -

誰でも勉強法で悩んだりすることは多いと思います。

僕自身も英語の勉強法について質問を受けることがあります。

その人の話をしていると、「英語の映画を字幕なしで見ないと英語の勉強にはならないんですか？」という質問をしてくることがあります。

多分その人は、英語の上達法について書かれた本を読んで、やり方のコツについて学んだものの、この勉強法じゃないとダメなのではないかという疑問を持ったのかもしれませんが。

語学力を上げたいけれど、なかなか成果が出ずにもがいているのは僕も同じです。

現在は韓国語で、過去には英語で経験していますし、気持ちは分かります。

僕の韓国語の勉強法は色々です。

現在は韓国旅行してきた時に、本屋で買ってきた日本漫画の韓国語版で勉強しています。

すでに日本語版を読んだ後なので、何を言っているのかはそれに分かりますし、語学本で勉強するよりはやりやすいです。

分からない単語は辞書で調べ、セリフのそばに日本語訳を書いています。

リスニング対策としては主に韓国語の歌を色々集めて聞いているです。

意味を理解するために歌詞カードを拡大コピーしてやはり日本語訳を書き込んでいます。

教科書やマニュアル本に書いてあることも参考にしていますが、それ以上に僕自身が楽しめる方法を見つけて、実践している状況です。

英語の勉強では、映画のDVDを字幕なしで見ることはせず（それだと難しくて長続きしないから）、英語か日本語の字幕をつけてみえています。

英語の歌も聞いています。特にA B B Aの歌は歌詞が比較的分かりやすいので、リスニングに向いている気がします。

レベルの高い英語を聞くこともあります。が、わざと簡単な英語を聞いて、自分は出来るんだと調子付けさせることもします。

英文を読む時には、英語で書かれたプロ野球のホームページを見たりしています。

中日が勝った時にはこれが結構楽しみです。

色々やってみて思ったのですが、勉強のやり方はたくさんあります。

今は上記のような感じですが、そのうちまた変わるかもしれません。

本に書いてあるやり方も一理あります。

でも、僕の場合はやり方にはあまりこだわらず、継続して楽しく出来るやり方を見つけて実践しています。

実力は、気がついたらいつの間にかついているものです。

どんな方法も、決して無駄ではありません。

正解があらかじめ決まっているわけではなく、自分で信じたものが正解となるのです。

だから人の数だけ正解があります。

僕が勉強のやり方について質問を受けたら、「何でもOK」と答えようと思っています。

15・外国語 - 覚えた単語はきつと後で役に立つ -

学校ですでに何年も英語を勉強したにもかかわらず、話すことが出来ないといったエピソードを耳にすることは多いと思います。

僕自身も、そんな実感があります。

現在、僕は日常会話レベルなら英語で会話をすることが出来ます。しかし、高校生だった時には英語は得意教科ではありませんでした。

(得意教科は物理と化学でした。)

当時、僕は英語の長文になかなかなじめず、テストの点が伸び悩んでいました。

文中に分からない単語が出てくるとそれで動揺してペースを乱してしまい、内容が理解出来なくなったりしました。

その悪いくせを何とかしようと、英単語帳で懸命に語彙力を増やしました。

しかし、しゃべることが出来ませんでした。

その後、英会話のNOVAや海外留学を通じて、話す機会をたくさん作ることで、英語が話せるようになりました。

こう書いてみると、冒頭での一文が見事に当てはまっている感じがします。

でも、学校で習ってきたことを否定するわけではありません。

英会話の教師に言われたことなのですが、「君は語彙力が結構あるね。」と何度も言われたことがあります。

授業中でも、他の生徒がしゃべりたい単語が分からずにいると、率先して教えたりしました。

つまり、高校の時に語彙力を増やすための勉強をしてきた成果が、ここで発揮されたことになります。

あの時のやり方は間違っていないでした。

僕は韓国語も勉強していますが、英語とは逆に語彙力不足に悩まされています。

韓国語は日本語と文法がそっくりなので、日本語の文章を直訳すればほとんどの場合、韓国語の文章として成立します。

そのため、話す時には物の名前が分からなくても「これ」「それで代用してどうにか文章を作ることが出来ます。

しかし聞き取りとなると相手はその物の名前でしゃべってくるため、単語がそろわなければ意味を理解出来ません。

文章を読むときにも、単語がそろわず、意味が理解出来ないことが多々あります。

そう考えると、高校の時に英単語をたくさん覚えたことが、余計に大きな意味を持っていたということをはっきりと実感しました。単語力があるのに、英語が話せないという人は多いと思います。その努力は、今は役に立っていないかもしれませんが、後できつと役に立つ時が来ます。

今の姿だけでなく、3年後の自分の姿をイメージしながら勉強を試みましょう。

16・算数 - 未知のことに挑む気持ちを持つ -

僕は以前、友人に頼まれて算数の問題を解いたことがあります。それは有名中学の入試問題で、なかなか手ごわいレベルでした。少し時間がかかりましたが、それでも連立方程式を使って解き、友人に見せました。

すると「確かに答えは合っているけれど、これを連立方程式を習う前のやり方で解いてくれない？」と言われてしまいました。

それを受けて、色々アイデアを駆使して再挑戦してみました。すると、一つ一つの問題によって異なるアイデアを考えなければならなくなり、かえって難易度が上がってしまいました。やり終えた後では、もうぐったりでした。

（問題そのものはここには出しません。ご了承ください。）

正直、連立方程式を使えば比較的簡単に解けたはずなので、個人的には納得出来なかったです。

僕は小学生にも連立方程式を教えるべきと言うわけではありませんが、たとえまだ習っていない状態であっても、人によっては使ってみる価値はあるのではないかと思います。

（採点者からはどう言われるか分かりませんけれど…。）

この考え方は結構他の事に応用出来るのではと思っています。世の中「まだ習ってないから。」「まだやったことがないから。」と言ってその物事に壁を作ってしまうよりも、新しいアイデアを駆使して未知のことに思い切って挑んでみるほうがいいといったケースは結構あります。

就職活動の時に、自分がこれまでやってきたことだけに分野や可能性を限定して面接に行くよりは、それに新しいアイデアを加えて

新しい可能性を発掘したいといった意識を見せたほうが、面接官にアピールになります。

プロ野球のピッチャーはすでに持っている球種だけでいつまでも勝負しては、相手にくせを見抜かれてしまい、やがてめった打ちされてしまいます。

生き残るためには必然的に新しい球種が必要になります。
新しいこと、未知のことに積極的に挑んでいきましょう。

17・服装 - 自分で具体例を見せてみよう -

友達と仲良く話している時のことです。

自分が相手の着ている服が気になったため、その人に向かって軽い気持ちでこう言いました。

「君が彼女いない理由、僕には分かるよ。その服が何だか子供っぽいから。僕からのアドバイスなんだけど、もっとかっこいい服を買ってイメチェンしたほうがいいよ。」

言った本人はいいこと言ったなという感じで、満足げな表情をしています。

さて、この言葉は相手の役に立ったでしょうか？

もちろん、役に立つこともあるでしょう。

しかし、かえって相手を落ち込ませてしまうこともあります。むしろそっちの可能性のほうが高い気がします。

相手の着ていた服は確かにあなたには子供っぽい服に見えたかもしれませんが。

でも、それはあくまでもあなたの見解です。

相手のその服に関しては、次のようなことが考えられます。

- ・ お気に入りの服だった。
- ・ 自分でお金を払って買ってきたから、着れる限り着たかった。
- ・ 親が買ってくれたものだから。

つまり、その服に関して、相手には相手なりのエピソードがあるのです。

その日の夜、その友達と別れて家に帰ってテレビを見ている時、相手は何て考えているのでしょうか。

あなたに言われた時には「そうかなあ？」と言いながら笑っていたかもしれませんが、もしかしたら悔しい表情を浮かべているかもしれません。

「子供っぽい服なんか着れるか！」

「じゃあ、お前にとってかつこいい服って何だよ！」

「新しい服を買ったって、どうせまた子供っぽいとか言ってくるんだろ！」

そう言いながらやつあたりしているかもしれません。

こうなってはかえってマイナスになってしまいます。

上記のようなアドバイスでは「かつこいい」という言葉があまりにも抽象的です。

これでは相手は具体的なイメージがつかめません。

後日、一生懸命に服について考えて、身銭を切って新しい服を買ったとしても、もしあなたがまた「それも子供っぽい。」と言ったら、それまでの努力が一瞬にして水の泡になってしまいます。

相手を変えるためには、あなたも変わる必要があります。

あなたの言った「かつこいい」とは具体的にどういうものなのか、あなたが説明出来るようになってみましょう。

服のカタログや広告をチェックしてみましょう。

自分でかつこいいと思う服を相手に見せて、どこがどうかつこいいのか、どこを相手に参考にしてほしいのかという説明が出来るようにしてみましょう。

そうすることによって、相手は新しいことを身につけて変わっていきますし、自分も新しいことを身につけて変わっていくことも出来るのです。

もう一つ付け加えると、「子供っぽい」服であっても、どこか1箇所はほめられる部分があるはずです。

それを会話の最後に付け加えておきましょう。

18・暖房 - 発想を逆転させてみよう(2) -

冬、外が寒い日には、部屋の中に入るといつい暖房の温度を上げたくなるでしょう。

理由は、早く温まりたいから、風邪をひきたくないからなどが挙げられると思います。

気持ちは分かりますが、僕としては暖房の温度は控えめにしてほしいと思っています。

これは、電気を節約し、地球温暖化を防止しようという思惑の他に、風邪をひかないようにしようという思惑もあります。

ある意味逆転の発想だと思いますが、僕は暖房の温度が高いほうが風邪をひきやすいと考えています。

これは、僕が冬場に韓国ソウルを一人旅してきた時にはつきりと実感してきました。

その日の外の気温は昼でも氷点下の真冬日でした。

僕はホテルにチェックインした後、床暖房の効いたオンドル部屋に入っていました。

その日は飲食店で食べた食べ物が合わなかったため、あまりおなかの調子が良くない状態でしたし、さらには未体験の寒さがこたえ、すっかり疲れていました。

そこに、部屋の温かさがこたえてとうとう体が耐え切れなくなり、ぐったりと寝込んでしまいました。

楽しい一人旅になるはずの1日が、思わぬ災難の1日になってしまいました。

気温までははっきりと分かりませんが、外の気温は-5、部屋の中の気温は25 くらいだったのだと思います。

(実際にはもっと気温差があったかもしれません。)

外と中で、これほどの気温差を体験したことも、それまでなかった気がします。

結局暖房の温度が高かったがゆえに風邪をひいてしまったと僕は考えています。

外と中の気温差が大きいとそれ以外にも、心臓に負担がかかったりします。

寒い日に外に出た途端、または部屋の中に入った途端、心臓がバクバクするような経験をしたことのある人も多いのではないでしうか。

だからこそ、寒い日には発想を逆転させて、温度を低めに設定してみましよう。

健康のために、暖房の温度はなるべく低めに設定すれば、二酸化炭素削減にも貢献出来ますし、一石二鳥だと思います。

この逆転の発想は夏場の冷房にも当てはまると思います。

夏になったら今度は冷房の温度を下げすぎないように、ご協力をお願いします。

19・遺伝子組み換え食品 - 不安を乗り越える勇気を持つ -

遺伝子組み換え作物や、遺伝子組み換え食品の安全性について話題になることがあります。

その度に消費者の不安をあおるような報道がされることがあります。

食品にも、「遺伝子組み換えでない」という表示をよく見かけます。

その表示がないと、すでに自分は遺伝子組み換え食品を食べてしまったのではないか。

これから何か起きるのではないかと不安に思っている人もいます。

それらを考慮すると、遺伝子組み換えとは私達を不安にさせる技術だ。そんな技術なんてなければいいのにと考えている人も多いかもしれません。

では、研究に取り組んでいる人達は、本当に我々を不安にさせるために開発をしているのでしょうか？

テレビや新聞では、安全性未確認の遺伝子組み換え作物が混入されていたことで、商品が回収される事態になることが報道されることがあります。

でもここで間違えてはいけないのは、問題なのは「安全性未確認」の作物なのであって、遺伝子組み換え作物全体を指しているわけではないのです。

私達は意見を述べる時についてい物事を全否定するようなことを言いがちです。

まずこの点を注意しましょう。

僕は過去、討論をする機会があった時に、遺伝子組み換え技術や、

遺伝子組み換え食品とはどういうものかについて、詳しく説明しようとしたことがあります。

しかし、まだ説明もしていないのに遺伝子組み換え食品と聞いただけで「こんな技術を使った食品など絶対に買わない！」と、感情的に否定してくる人もいました。

僕は不安に思っている人達に正しい知識を身につけてほしいと思っています。

しかし、多分この人はおなかを壊した時、本当はただ食べ過ぎただけなのに、それを遺伝子組み換え食品を食べたせいだと主張してくると思います。

こういうことを言うてくる人には何を言っても無駄だと思ったので、結局取りやめました。

遺伝子組み換え食品の不安というものには次のものがあります。

- ・まだ発展途上の分野なので、まだ未知のことが多い。
- ・食べてから体に何か良くない作用が起きるかもしれない。
- ・農地で勝手に増殖し、自然のバランスを乱す可能性がある。
- ・交配などの自然の作用ではなく、人為的な作用によって出来た食品だから。
- ・食品に「遺伝子組み換えでない」と表示があるから。

では、長所についてはご存知でしょうか？実は色々あります。

- ・収量を増やしたり、栄養価を向上させることが出来る。
- ・異常気象や病害虫、やせた土壌などに強い。
- ・貧しい人達を救うことに期待が寄せられている。
- ・交配などによる品種改良では好ましい部分と好ましくない部分が出来るが、そのいい所取りを出来る。

元々食糧増産や貧しい人達の救済など、人々のために思って開発された技術ですから、長所はあって当然です。

現に、遺伝子組み換え作物の作付面積はものすごい勢いで伸びています。

食品用でなくても、砂漠の緑化やバイオエタノールにも期待がもたれています。

人間の体内に入るものでなければ、不安も減ることでしょう。

それでも植物が勝手に増殖したら確かに問題かもしれません。

でも、誤解を恐れずに言うと、現在の世界における砂漠化の進行状況を考えると、そこまでやるかというぐらいのことも緑化のためには必要かもしれません。

自分なりに手短に、かつ色々説明しましたが、いかがでしたでしょうか？

もし、何か良くないことがありそうなので買わないと言うのであれば、タバコは癌の原因になるのに、何故買うのですか？お酒は飲酒運転など、取り返しのつかない状況を招くケースも報告されているのに、何故買うのですか？という疑問も出てきます。

結局不安というものは人間が作り出した妄想意識であることが多いと思います。

例えば、「あなた病気になりますよ。」と言われた人は、まだ病気ではないにもかかわらず、色々病気になった時の妄想を広げてしまい、自分は病気になるんだと思い込むようになって、結局本当に病気になってしまいます。

つまり、起こってもいない、具体的にイメージすることが出来ないことについて色々妄想を広げ、自分で良くない雰囲気を作り出しているのです。

本やメディアでは、私達に不安を植え付けるような情報が流されることがありますが、僕はたとえそれが事実だとしても、考えが前向きにならないのであれば、仕入れてもしようがないと考えています。

短所の不安におびえながら毎日を過ごすよりも、長所を信じて前向きに毎日を送るほうがいいに決まっています。

不安を乗り越えて前向きに生きる勇気を持ちましょう。
それがどんな薬よりも効く人生の特効薬になるのです。

僕は2007年11月にプロ野球アジアシリーズで、中日を応援しに東京ドームに行ってきました。

中日と韓国のSKが直接対決していない時には、SKの試合にも足を運びました。

僕は中日ファンの格好をしていましたが、試合では一緒にSKを応援し、「テーハンミングッ！」の合唱にも参加してきました。

また近くにいた韓国人の観客とも色々会話をしたりして盛り上がりました。

国の違いや、本当に応援しているチームの違いはあっても、とても楽しい時間を過ごすことが出来、正直言って中日を応援している時より印象に残りました。

メディアや新聞の報道を見たり、本を読んだりして外国のことを学んでいると、不快な情報に出くわすことがあります。

時としてその国が嫌いになりそうになったり、その国の人を疑いなくなったりすることもあると思います。

正直言って、政治問題や領土問題などで相手の国の人と意気投合出来るようなことはまずないでしょう。

でも、それを超えて分かり合うことは出来ます。

僕自身、韓国旅行をした時、自分が日本人だと分かっても相手がそれで態度が冷たくなったり、反日的な言葉を浴びせられたことはほとんどないです。

そんな親切的な態度を見て、ますます韓国が好きになりました。

しかし、政治的なことなどでお互いに衝突してしまうと、お互いが損をします。

相手の国が嫌がるようなことで争っていては、たとえ争いに勝つ

たとしても、相手の国の人には間違いない嫌われてしまいます。
自分の国の人も、考え方が合わなければ結局敵にまわしてしまいます。

勝負の世界はどちらかが勝てばどちらかは負ける、Win-Loseの世界です。

しかし、世の中には「喧嘩両成敗」という言葉があります。

戦争に勝利などないように、争いごとくもまた両成敗、いわば Lose-Loseです。

争い合うよりも、分かり合っていけば、それは双方が得をする状況、すなわち Win-Win Situation です。

お互いの考え方に違いがあった時は Win-Win と Lose-Lose の分かれ目です。

それは、相手の意見を認めずに自分の考えを相手に認めさせるか、相手の意見も考慮して認め合うのかによって決まるのです。

20・アジアシリーズ - 分かり合えばWin-Win 争えばLose-Lose

これらの作品が読者の皆様の役に立てば幸いです。
ご意見、ご感想をお待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8734d/>

人生を前向きに生きる20のヒント

2010年10月8日13時01分発行